



# 学校だより



騎西特別支援学校

No. 10

令和5年1月31日

新年を迎えて1か月が経とうとしています。寒さに負けず、校内には元気な子どもたちの姿があり大変嬉しく思います。今学期は1年間を総括する大切な時期です。子どもたちは一日一日を大切に日々の生活や学習等に取り組んでいます。学校では引き続き感染予防に努めて参ります。ご家庭でもご協力頂いているところですが感染予防や体調管理等よろしくお願いたします。

## 【小学部 低学年（小低）】

1年生は、もちつき会に向けて「ねずみのすもう」のお話遊びを行っています。実物大のうすと杵でお餅をついて食べる真似をすると、もりもり力が出てきます。相撲が強いねずみさんが登場すると「たかいたかい」をしてくれるので、みんな大喜び。ねずみさんに相撲を教えてもらった後は、一人ずつねずみさんと相撲をとります。回を重ねる毎に相撲の楽しさもわかってきて、たくましい力士になってきました。餅つきの腕前も、だんだんと上がってきました。



## 【小学部 高学年（小高）】

新しい年を迎え、5年生みんな寒さに負けずに元気に学校生活を送っています。「年始め」ならではの学習として1・2組は凧揚げ、鏡餅作りを行い、校庭でおもいきり走り回りながら自分で作った凧を揚げました。重複3・4組は、福笑いや羽根つきなど正月遊びを行い、「トントン」と羽がつく音を楽しみながら教員が持つ針金に付けた羽をよく見て羽子板でつくことができました。



## 【中学部】

中学部では、新型コロナウイルス感染症が蔓延してから「新春もちつき大会」に替えて、正月行事として「昔の遊び体験」を行っていましたが、今回初めて地域の区長、須黒孝憲様を独楽回しの講師としてお招きして実施することができました。須黒様には小学部の芋掘りでもお世話になっていますが、中学部の依頼も快く引き受けてくださいました。短時間ずつではありましたが、各教室を回りながら独楽回しの模範演技を披露してくださり、生徒達に熱のこもったご指導をしていただきました。一緒に勢いよく紐を引いて見事成功した生徒もいて、皆から歓声が上がっていました。他に剣玉や福笑い、竹とんぼ、凧揚げの活動も行い、手や体を使いながら夢中になって伝統遊びに親しむことができました。



## 【高等部】

高等部では、学期始めに書初めを実施しました。毎年恒例行事となっており、生活単元学習の一環として取り組みました。今回は2年生の活動の様子をご紹介します。

書きたい文字を考えるとところから始め、決まった生徒からどんどん書き始めました。普段なかなか握る機会の少ない筆の扱いに悪戦苦闘しながらも、自分の気持ちに乗せた言葉や線を力強く書くことができました。完成した作品に満足そうな表情を浮かべる生徒たちは2023年、良いスタートを切りました。

